

普及センターだより

No.132

MISATO

発行 宮城県美里農業改良普及センター

〒987-0005 遠田郡美里町北浦字笹館5

TEL (0229) 32-3115

FAX (0229) 32-2225

E-mail msnokai@pref.miyagi.lg.jp

宮城県美里農業改良普及センター公式HP

技術情報や普及センターの情報などを発信しています。下記URLやQRコードからアクセス可能です。是非ご活用ください。

[\(https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/\)](https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/)

ばれいしょほ場の排水性改善 施工実演会

宮城県農業・園芸総合研究所とヤンマーアグリジャパン(株)の協力のもと、カトドレーンによる補助暗渠の施工を実演しました。

普及の窓 「未来につなげよう 東部大崎地域の多彩な農業」 所長 穴戸夕紀子

美里普及センターでは、4月に職員4人が異動し、新年度のスタートを切りました。この5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症になり、経済活動が活発化しつつありますが、一方で燃油や資材、飼料価格等の高騰が続いており、農業の経営環境は厳しい状況となっております。引き続き、関係機関等が一体となり農業経営の安定化に取り組む必要があると考えています。

今年度普及センターでは、令和6年度末までに市町が策定する「地域計画」に位置づけられる担い手の確保・育成に向けて、担い手組織の法人化や担い手の経営力強化、新規就農者の定着支援等、将来にわたり地域農業を維持・発展させるための活動を行っていくことにしております。また、収益性の高い水田農業の確立に向けて、土地利用型作物のICT技術の活用等による省力・低コスト生産の取組支援を行います。さらに、ばれいしょ・にんじん・さつまいも等の加工業務用野菜の安定生産支援に重点的に取り組み、この地域の多彩な農業の振興に尽力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

令和5年度プロジェクト課題紹介

今年度は3つのプロジェクト課題に取り組みます！

土地利用型農業法人の経営戦略の策定と持続的経営の展開

農事組合法人おおぬき彩土里いろどりファームは、大崎市田尻で令和3年8月に設立されました。今年度の経営面積は、主食用米と転作作物（飼料用米、WCS、小麦、大豆、牧草）を合わせて79.5haとなっており、当地域の農業を担う法人です。しかし、将来にわたって安定した法人運営を行うためには、組合員の高齢化に伴う労働力の減少等の課題の解決を図る必要があります。

そこで、担い手の確保・育成に向けて、さつまいも等の高収益作物の導入を検討し、年間を通じた農作業と収入の平準化を目指します。また、持続的な法人運営の確立に向けて、経営管理勉強会等を実施し、経営計画の見直しや経営管理能力の向上に取り組みます。

本プロジェクトは今年度から令和7年度までの3か年の活動を計画しており、関係機関と連携して支援していきます。



土地利用型農業法人が取り組む加工業務用にんじんの生産安定

美里町の5つの農業法人が取り組む加工業務用にんじんの栽培技術向上等に向けて、昨年度から支援を行っています。

昨年は7月の大雨により、夏作にんじんが大きな被害を受けました。水田における露地野菜栽培では排水対策が最大のポイントですが、湿害のリスクが低いとされたほ場でも収量が大きく減少するなどの課題を残しました。秋冬作にんじんは作柄は良かったものの、安定した収量を確保するためには、病害虫の効果的な防除や適した品種の選定等の課題が見えてきました。加えて生産量の増加に伴い、安定して出荷できる販路の確保も望まれています。

今年度は表面排水を含めた対策による湿害回避、適切な病害虫防除、地域に合った品種の検討、販路の開拓等についての活動を継続していきます。



堆肥の活用と施肥方法の改善による麦類の品質・収量の向上

涌谷町は「夏黄金」を中心とした小麦の生産が盛んな地域ですが、麦・大豆のブロックローテーションでは、作業の関係等で堆肥を施用していないほ場が多く、地力の低下が懸念されます。町内には、100頭規模の大規模畜産農家が複数あり、年間10,000t以上の堆肥が生産されていますが、有効に活用されていない状況です。そこで、本プロジェクトでは、麦作における効果的な堆肥の施用方法について検討し、堆肥の活用促進を図ります。

また、主力品種である「夏黄金」は弱小穂が発生しやすく、品質・収量が不安定であることが課題です。発生を抑制するためには、出穂期以降の肥料分の維持が重要であると考えられており、作業性と生産・品質の向上を両立する施肥方法についても検討します。



重点的な普及活動の紹介

活動項目	内 容	対 象
新規就農者の確保・育成に関する取組	新規就農者の確保・育成を図るため、就農や研修に関する相談に対応します。また、新規就農者の支援制度等の活用に向けて支援します。	新規就農者、農業研修生、教育機関、学生
土地利用型園芸作物の安定生産	水田フル活用による収益性の高い水田農業の確立を図る取組として、ばれいしょやたまねぎ等の露地野菜について、収量増加や品質向上による定着を支援します。	J A新みやぎ美里ぽてと部会、たまねぎ栽培志向生産者 等
環境に配慮した持続性の高い施設園芸の推進	持続可能な産地の維持・発展に向け、こねぎやほうれんそう等の施設野菜について、環境に配慮した技術の導入等の活動を支援します。	J A新みやぎ仙台かねぎ部会、J A新みやぎみどりの地区ほうれん草協議会
地域農業担い手の経営発展に関する取組	「地域計画」策定による地域農業の担い手の確保・育成に向けて、法人化や経営の持続的な発展に向けた取組を支援します。	経営発展を志向する経営体
特色ある米作りを通じた地域振興に関する取組	地元の酒蔵と連携した「吟のいろは」等酒米や、地域の歴史とリンクした「金のいぶぎ」に関して生産の安定化と品質向上を支援します。	松山町酒米研究会金のいぶぎ生産者

農業士の紹介

令和5年4月1日付けで新たに認定を受けた農業士※3名をご紹介します！

※県では、優れた農業経営を実践し、次代の農業人材育成や地域農業に貢献している農業者を「農業士」として認定しています。

指導農業士 おの でのりよした **小野寺良太さん** (美里町、水稻)

水稻・大豆15haと施設野菜(ほうれんそう等)35aを経営しています。平成23年に就農後、J Aの青年部委員長や県青年農業士として地域農業振興や後継者育成に努めており、農業者のリーダーとして活躍が期待されています。



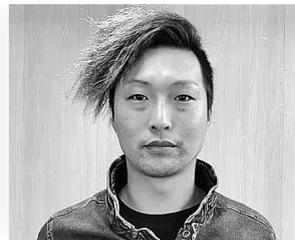
青年農業士 にしやま たかゆき **西山 貴敬さん** (涌谷町、野菜)

平成26年に種苗会社の研修で野菜苗の栽培技術を習得し、平成28年に就農後、野菜苗の生産販売のほか、作物病虫害防除協議会のオペレーターとして地域農業や園芸の振興に貢献しています。



青年農業士 せきば しょうた **関場 渉太さん** (大崎市田尻、酪農)

令和元年設立の株式会社エスエーシーの代表取締役として酪農(搾乳牛120頭)の大規模経営を行っています。平成26年に就農後、父から経営を継承し、令和3年に規模拡大して畜産振興と後継者育成に取り組んでいます。



美里農業改良普及センター管内の農業の動き

加工用ばれいしょの収量・品質向上に向けて

宮城県では、水田転作での取組やカルビーポテト株式会社との契約栽培等を背景に加工用ばれいしょの面積が拡大しており、今年度は約97haの作付となっています。当普及センター管内では、平成20年に部会が設立されるなど、早い段階から取り組んでおり、作付面積は約22haとなっています。今年度は試験研究機関や生産者と一体となって、排水対策（表紙写真参照）や品種比較試験、スマート農業技術の実証等に取り組み、収量増加や品質向上による産地強化を目指していきます。

宮城の農業普及現地活動情報

公式ブログで現地活動の様子を紹介しています！
(<https://blog.goo.ne.jp/miyagifukyu>)



-受賞のお知らせ-

田尻アグリワーカーズ 東北農政局長賞受賞

持続可能な農業の確立を目指し、意欲的に経営や技術の改善等に取り組む農業者等を表彰する「令和4年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」（主催：農林水産省）で、大崎市田尻の農事組合法人田尻アグリワーカーズ（代表理事 佐々木洋志 氏）が東北農政局長賞を受賞されました。減農薬栽培等の環境に配慮した農業や農福連携等の積極的な取組が評価されました。おめでとうございます。



令和5年度美里農業改良普及センター職員・主な担当業務

ししど ゆきこ **新**
宍戸夕紀子 所長（花き）

きむら まさひろ
木村 政浩 総括次長（野菜）

先進技術班

先進的農業を担う経営体への支援

- ・ 水稻や大豆、麦、園芸作物、畜産等の栽培・飼養管理技術向上支援
- ・ GAPの導入や6次産業化等の経営発展、高度化の支援
- ・ 環境に配慮した農業技術やスマート農業等の先進的技術の普及

まち なおき
町 直樹
技術主幹・班長（作物）

さとう のりこ **新**
佐藤 典子
技術主幹・副班長（経営・野菜）

さかい まりえ **新**
酒井 球絵
技術主査（作物）

そぶ しん
蘇武 真
技術主査（野菜）

さいとう けんや
齋藤 憲治
技師（野菜）

ひらうみ みお
平海 水緒
技師（野菜）

ごとう りよ
後藤 りよ 土壌分析補助職員

地域農業班

地域農業の重点的な課題解決の支援

- ・ 地域農業振興計画や地域営農システム構築の支援
- ・ 集落営農組織の運営や法人化等の支援
- ・ 青年農業者や女性農業者等、多様な担い手の活躍支援
- ・ 新規就農者の経営安定化支援や就農相談

ささき みわ
佐々木 美和
技術次長・班長（作物）
美里町担当

さとう やすまさ **新**
佐藤 泰征
技術主任主査・副班長（花き）
大崎市鹿島台・松山担当

そね はるか
曾根 晴佳
技術主査（果樹・経営）
涌谷町担当

さとう ゆか
佐藤 結佳
技師（畜産・経営）
大崎市田尻担当

※ **新** は、令和5年4月1日付けで新たに配属になった職員